

第52号

Super  
Highway

JR東労組バス関東本部

発行日  
2013. 12. 24

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎  
編集責任者：中世古俊明  
東京都渋谷区代々木2-2-6  
JR新宿ビル13F  
Tel03-3375-5076 (NTT)

～バス運転手不足で国土交通省が初の検討会～

## バスの運転者の確保及び育成に向けた検討会（第1回）開催される

今回、交通基本法成立に伴い、公共交通機関として欠かすことができないバス路線の維持・確保に向けて国土交通省内に「バス運転者の確保及び育成に向けた検討会」を立ち上げることになり、12月20日に第1回検討会が開催されました。検討会委員には、大学教授、バス会社、労働組合、旅行業界、国交省、厚労省などが委員となり、JR総連・JR東労組は委員（遠山バス関東議長）を選出し検討会へ参加しました。

検討会の主な議題は・・

1. バス運転者の現状・将来予測
2. バス運転者の確保・育成状況
3. バス運転者の確保・育成に係わる課題・先進事例等
4. バス運転者の確保・育成に係わる対策案



検討会ではまず、行政側から現在のバス業界の現状・賃金などの労働条件の統計データ、大型二種免許保

有人口などの説明に続き、日本バス協会から乗合バスの現状説明・アンケート結果を基にした各社における運転者の募集状況・離職の状況・運転者確保の対策などの説明がありました。

バス会社からは、東武バスウエスト、宮城交通から方策についての取り組み事例が紹介されました。遠山委員からは「東北地方では大震災以降、運転者がトラックやダンプカー等に行き、各バス会社が苦労している」現実と「JRバス関東では、観光系の専門学校と連携し、卒業した若い人材が東京・新宿のバスターミナルで営業職として働き、本人のサポートをしながら適性を見て、将来のバス運転者へしていく」などの実例をあげた提言を行いました。各委員からは「10年後には運転者不足で業界が立ちゆかなくなる」「高卒を採用するには免許制度を改正すべき」「長時間労働・低賃金では人が集まらないのは当然、労働条件の改善を」「バス事業の重要性、魅力をPRすべき」「女性運転者活用の検討」や「65歳を超えた運転者の年金対策」など、大きな改革を必要とすることが鮮明になりました。国交省は今後、検討会を重ねながら調査の実施をすすめ、平成26年6月頃を目安に検討結果の取りまとめを予定しています。

**職場からの提言をもとに、社会全体から見たバス業界の対策を発信して、労働条件改善をつうじた運転者不足解消と安全で働きがいのある業界の確立に向けて、全力で取り組んでいきます。**